



# 会派勉強会

## 「宇都宮市の交通政策」〜集約型都市を目指して〜

講師 宇都宮大学大学院 森本章倫氏

平成21年9月30日(水)に宇都宮市の交通政策について勉強会を行いました。交通に関する歴史や現状についての説明の後、交通調査とその解決に向けた各種交通計画を実施することで、効果的な交通政策を行うていく必要があること。将来の都市交通についての予測方法や交通手段選択など、多くの代替案を比較検討し、何が必要であるのかを十分に検討していくこと。さらに海外の先進事例を

含め、実社会における交通の長期的な方向性を把握し、持続可能な都市交通の在り方について考えていくこと。そして、本市の交通政策については、将来の東西交通軸を支える交通能力を有し、住み替え行動を誘発する魅力的な交通機関で、将来の本市の街並みにふさわしく、環境に優しく、財政的に維持可能なシステムが必要であること。結論として、集約型都市

を目指していくことが、本市の交通政策のあり方であるという内容について、講演をいただきました。交通政策の実現にあたっては、本市単独では困難であり、国や県の考え方、そして補助金なども十分に活用していかなければいけないものであり、今後、関係機関との調整、情報収集を行い、的確な対応をとる必要があると強く感じたところです。

# 市執行部に問題提起や提言

自由民主党議員会では、医療福祉部門、経済環境部門、教育文化部門のそれぞれが調査研究テーマに沿って、3グループによる行政視察を実施しています。調査結果については、議会一般質問などで執行部に対し問題提起や提言を実施して

います。また、各常任委員会の会派内メンバーで行政視察を実施しています。現在の本市の抱える様々な課題に積極的に取り組み、常任委員会での討議内容を深めるため、先進都市の事例などを研究しています。

## 宇都宮市の将来ビジョン研究会 「研究報告・提言」を市長に提出



宇都宮市の将来ビジョン研究会では、「研究報告・提言」をまとめ、12月15日に市長に提出しました。内容については、会派ホームページに掲載しましたので、是非ご覧ください。

## 市民の声

市民の方から本紙をはじめとする当会の活動等に関する数多くのご意見・ご要望等が寄せられています。下記にその一部をご紹介します。

男性

市の広報を見たが、市職員の給与が高い。残業手当があるが、タイムカードがないのに、どのようにしてはらっているのか。少なくともタイムカードを導入してくれ。

男性

市内の介護事業所で母がサービスを受けているが、非常に対応が良くない。どこに相談すればいいのか。

男性

平出工業団地の産廃施設の件であるが、デモなどをして反対している人がいるようであるが、法に則り毅然として対応してもらいた

い。やみくもに反対しているだけで、建設的な反対でないと思われる。施設の影響がほとんど考えられないところで反対をしているのは大変情けない。政争の問題にしてしまえば、本当の関係者がかわいそうである。

産廃施設については、施設稼働後その業者がそのまま事業を継続して操業をやめないことが望ましい。やめてしまうと問題が発生する可能性がある。操業をしている間は、ほとんど問題は発生しないのが今の産廃施設の現状である。

男性

本市における求職者と企業の求人者数の状況はどうなっているのか。雇用保険のもらえない失業者への具体的な取り組みを実施しているのか。休耕農地を貸し出すとかして食料確保するようなことも失業者取り組みとして有効であると思われるので検討してもらいたい。

男性

ドクターカーの運行をお願いしたい。救急車に医師と看護師が乗り車中で医療行為ができれば重篤な患者の生存率も高くなると思われる。是非検討していただきたい。

女性

国民年金の滞納整理を10月から社会保険事務所では民間委託をすることになったようである。個人情報流出とかいろいろな問題が生じるのではないかと。社会保険事務所に連絡してもなかなか電話も繋がらないので、市議会からも要望してもらいたい。

別件であるが、街路灯が少なくて危険なところが多い。特に、環状線周辺においては、多く見受けられる。その辺の点検をお願いしたい。

男性

宇都宮市のLRT導入計画の実状と福井市及び富山市の既存の設備を利用し経費削減を図っており

多くの住民が納得しているLRT導入の実状が違ってきます。県も市も財政難のおり、莫大な事業経費がかかる「LRT導入推進及び駅東口整備推進要望」に税金を費やすことに、一市民として絶対反対です。県民市民に対して税金を無駄に使わず、県行政市行政としていかに住民の生活に税金を有効に活用されることを強く要望いたします。

男性

民主党は、子ども手当や高校生無料化や高速道路無料化のために、国の予算を削る事業仕分けを行うのは完全に経済論理を無視しています。この手当をやめれば事業仕分けをしなくてすむのですから。今こそ、自民党は反対運動をおこすべきです。子ども手当も本当に必要なところに出すべきです。ばらまきに反対を！

これからもできるだけ多くのご意見を掲載したいと思います。